

平成30年(2018年)3月1日(木曜日)

見積もり合わせ
三島市は争う姿勢

地裁沼津支部

三島市の資源古紙回収業務の公開見積もり
合わせに参加資格のな

い事業者を参加、落札させたことで自社に損害が出たとして、同市の産業廃棄物処理業「東部処理」が市を相手に約3600万円の損害賠償を求めた訴訟

の第1回口頭弁論が28日、静岡地裁沼津支部(比佐和枝裁判長)で開かれた。被告側は請求棄却を求める答弁書を提出し、争う姿勢を示した。

訴状によると、公開見積もり合わせは2015年1月に行われ、落札したのは古紙回収の業種登録がない市外の事業者だったとしている。